

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	構造物掘削 普通部	金田高架橋の構造物掘削数量について、例えば、金田高架橋上り線P1橋脚の掘削土量は44.3m ³ で、数量計算書より土質区分を土砂BでC値=0.87とした場合の換算土量は44.3×0.87=38.5m ³ となります。埋戻し量は数量計算書より40.1m ³ であるため、38.5-40.1=-1.6m ³ の埋戻し土が不足します。特記仕様書23-2-1には「※金田高架橋の残土は小櫃川第二橋下土砂仮置場へ運搬・仮置き」と表記されていますが、実質的に残土は発生しません。不足土量はどのように充当するのかご教示ください。	土量換算率は考慮していないため、残土の発生を想定しておりません。
2	構造物掘削 特殊部B1	小櫃川第一橋のP5橋脚の土留工数量表が図面614/667にあり、副部材の総数量は、11,416kgとありますが、その表の副部材数値を全て足すと12,168kgになります。副部材にスルーサーが記載されていますが、これを除くと11,416kgです。スルーサーの重量は副部材重量には含まれないのでしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。
3	構造物掘削 特殊部B1・B2・B3	上部障害クリア工法のパイルランナー使用時のレール用鋼矢板Ⅱ型と、コーナー用の反力鋼矢板Ⅲ型も、共に購入(中古品、スクラップ処分)でしょうか。また、レール用鋼矢板Ⅱ形および反力用鋼矢板Ⅲ型の各必要数量も含め、ご教示願います。	レール用鋼矢板とコーナー用反力鋼矢板については、材料調達方法および数量を指定するものではありません。

4	構造物掘削 特殊部B2・B3	回答26-8により、最大N値は50以内・上部障害クリア工法を使う、とされています。全国圧入協会の上部障害クリア工法では、最大N値が $40 < N_{max} \leq 50$ の場合はWJ2台使用とありますが、その理解で良いでしょうか。ご教示願います。	そのとおり想定しております。
5	構造物掘削 特殊部B2	小櫃川第一橋P6で施工の大型土のう袋の規格ですが、特記P8の、施工時期、11月1日～翌5月31まで（非出水期内）、の記載により、耐候性大型土のう 従来基準 2.0 t 用 $\phi 110$ (丸型)×高110cm 短期(1年)、と推察されますが、これで良いでしょうか。ご教示願います。	大型土のう袋は耐候性大型土のうを想定しておりますが、詳細な仕様の規定はありません。
6	構造物掘削 特殊部B2	小櫃川第一橋P6で施工の大型土のうですが、回答28-3により、小櫃川第一橋の土取場の土を使用、とあります。撤去時も同じ場所への運搬・解体、でしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。
7	縁端拡幅工B 鉄筋T	縁端拡幅工Bの金田高架橋の鉄筋数量についてですが、図面2/667の数量総括表では上下線各0.255 t なので計0.51 t となりますが、金田高架橋(上下線) A2橋台縁端拡補強詳細図(その2) 102/667では、鉄筋表より計509 kg となっています。金田高架橋は計0.509 t、北内房線橋は計1.142 t (設計数量は13.51 t) で良いでしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。

8	縁端拡幅工B アンカー工C	6/16訂正公告でアンカー工Cが追加となりましたが、鉄筋探査の数量が不明です。ご教示願います。	表面処理工の面積と同面積と想定しております。
9	落橋防止構造 落橋防止装置、鋼製ブラケットA・B・C	回答39-5にて、製作には、工事積算基準_第15編_鋼橋工、歩掛を使用とのことでしたが、落橋防止装置、鋼製ブラケットA・B・Cの製作において、構造の複雑性と多様性については、次の何番を想定されているでしょうか。1 構造が単純で同形のものが多い 2 構造がやや複雑で同型のものが多い 3 構造が単純で種類が多い 4 構造がやや複雑で種類が多い 5 構造が複雑で同型のものが多い 6構造が複雑で種類が多い。ステップと手すりの製作も含めて、ご教示願います。	1 「構造が単純で同形のものが多い」を想定しております。
10	耐震補強用鋼板の架設B	特記P28にピア-リフレ工法での施工、とありますが、柱状体圧入補強協会のピア-リフレ工法標準積算資料で、加圧リングと流出防止ホッパーの1現場当りの損料が空欄です。各損料を、ご教示願います。	損料は提示できません。
11	耐震補強用鋼板の架設B	回答35-5にて、大型土のう62個製作を計上、とありますが、どこで袋に土を入れるのか、土のうは撤去するのか、土のう袋は耐候性大型土のう 従来基準 2.0 t 用 φ110(丸型)×高110cm 短期(1年)で良いか、ご教示願います。	大型土のうは、特記仕様書6-1-1「土取場の位置」に示す土取場にて製作し、使用後は土取場へ土砂を戻す予定としております。また、土のう袋はNo. 5の回答をご参照ください。

12	橋脚切り欠き部充填工 コンクリート	6/16訂正公告により、岩根西高架橋P18上り線のコンクリート数量が変更になりましたが、単価項目に含まれる表面処理工（WJ工法）の面積176.1m ² には変更はないでしょうか。ご教示願います。	6月16日掲載の訂正公告による、表面処理工の数量の変更はございません。
13	事前調査	回答32-4・5で、それぞれの単価項目に、条件に合致した歩掛の適用を想定、とありますが、計上工種は、ひび割れ注入工、断面修復工A1-2、のみでしょうか。その場合の事前調査面積は、ひび割れ注入工、断面修復工A1-2、それぞれいくつでしょうか。他の工種にも計上の場合も含め、各工種の数量をご教示願います。	計上工種は、ひび割れ注入工および断面修復工A1-2とお考えください。また事前調査面積はそれぞれの施工範囲でお考えください。
14	特 - (6) 試料採取	特記P39に、鉄筋探査を実施する、とありますが、その面積はいくつでしょうか。ご教示願います。	鉄筋探査の面積は、削孔箇所から50cmの幅を想定しております。
15	割掛 仮設備工事 足場工費（標準型）A	橋梁下部工耐震補強用足場の、特殊幅W=700 H<10m、特殊幅W=700 10m≤H<20mは、ネクスコの橋梁下部工補修用足場の標準歩掛を使用しているのでしょうか。見積でしょうか。ご教示願います。	標準歩掛の使用を想定しております。

16	経費	落橋防止構造やピアリフレ工法の鋼板など、工場製作品の間接費は一般管理費のみ対象でしょうか。ご教示願います。	共通仮設費・現場管理費の対象と想定しております。
----	----	---	--------------------------